

# ナムザックがIP携帯サービス開始 外国人ターゲットに年内2万加入目指す

Web会議・ソフトフォン等を開発するナムザック・ジャパンは7月23日、MVNE事業を展開する日本通信からNTTドコモのFOMA網を借り受け、MVNOとして携帯電話向けのVoIPサービス「Arrowfone(アローフォン)」の提供を開始すると発表した。

回線と同様に日本通信からi-mate製のスマートフォン「Ultimate 8502」の供給を受け、これに専用クライアントソフトを搭載して販売する。なお、他キャリアや一般公衆回線等への接続などを行うバックボーンは、業務提携したアジルネットワークスが提供する(図表1)。

する(図表1)。

Arrowfoneは、加Namzak Labs社が開発した携帯電話用ソフトフォン。低帯域を特徴とし、ナムザック・ジャパン代表取締役の福元無外氏によれば「通常の携帯電話の音声帯域の6割、スカイプの5分の1程度の7.5kbpsで通話できる」という。「電波を効率的に利用でき、収益性の高いMVNO事業が展開できる」(同氏)。

## 主戦場は国際電話

ユーザーには、“IP電話ならではの通話料の安さをアピールする。



ナムザック・ジャパン  
代表取締役  
福元無外氏

インターネットを介しデータ通信定額の範囲内で音声通話も行うという利点を最大限に発揮できるのは、国際電話だ。営業・販売を担当するナムザック・モバイルの岡田崇正代表取締役社長は話す。

「国際電話料金を劇的に下げられる。このメリットを前面に出して、最初は外国人を中心に展開。年内にも2万加入を達成したい」

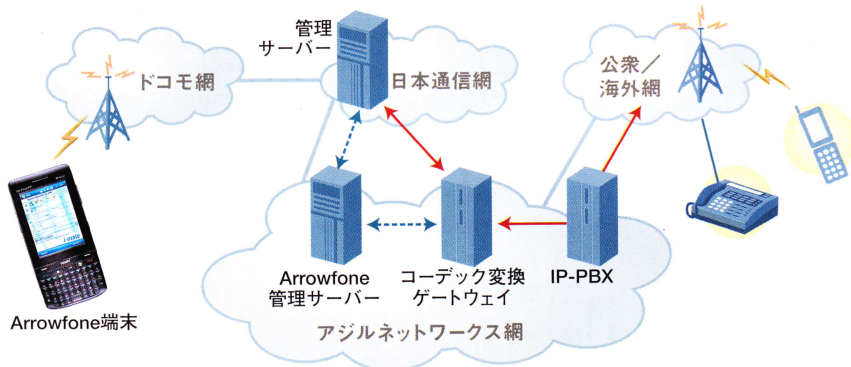
Arrowfoneの月額基本料金は3980円(30万パケットまで定額)。加入者同士の通話が無料(国内に限る)なほか、他キャリアの携帯・固定電話や海外への通話も、ドコモ網から他キャリアへの接続にインターネットを用いるため、料金を低く抑えられる(図表2参照)。

例えば、米(一部地域除く)・加・中への通話料金は、対携帯・固定ともに1分2円。現在の主要な国際プリペイドカードの料金は、対米・中で1分20円前後だ。

1000円を切る定額通話が当たり前となった現在、IP携帯の利点は発揮し難い。だが、海外との通話の多い外国人や法人をターゲットとすれば、料金競争の余地はまだある。

来年にはAndroid端末の投入も予定する。「端末調達コストを低減し、さらに魅力的なサービスを展開していきたい」(岡田氏) 考えた。

図表1 Arrowfoneのネットワーク構成



図表2 Arrowfoneの料金体系

	Arrowfone基本プラン (音声+データ定額)
月額基本料金	3980円
国内通話料金 ・グループ内通話 ・対固定電話 ・対携帯電話 ・パケット料金	24時間無料 5円/分 17円/分 30万パケットまで無料 (超過分:0.02円/パケット)

月額3500円で  
下記23カ国(地域)への通話料無料

アメリカ(アラスカ・ハワイ・グアム除く)、カナダ、中国、香港、シンガポール、アイルランド、イギリス、イスラエル、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、韓国、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、台湾、デンマーク、ドイツ、ブラジル(サンパウロ)、フランス、ロシア(モスクワ)

※ 赤字の地域→固定/携帯ともに無料  
※ 黒文字の地域→固定電話のみ無料